

# 医療法人 芙蓉会 南草津病院

## 訪問リハビリテーション情報誌

# みなりハ

第11号

発行日2014. 10

紅葉の知らせをあちらこちらと耳にする季節となりました。朝夕と肌寒く感じるようになりましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

さて、今回の“みなりハ”は“つながるリハビリテーション”の第3段で、南草津病院で開かれている『家族教室』についてご紹介したいと思います。

家族教室では、病気・転倒の予防や服薬管理、入院から退院までの流れや介護保険についてなど、皆さんが不安・疑問に思っていること、知っているつもりであり知らないことをテーマに取り上げ、当院のスタッフがご家族に向けてわかりやすく説明をしています。



院内で開かれた家族教室の様子です。

毎回、各テーマに沿ってリハビリスタッフや看護師・薬剤師などが、退院後に必要な事や不安・疑問に思っている事を、スライドを使って説明しております。

### 家族教室

#### 訪問リハビリテーションについて



南草津病院 リハビリテーション課  
訪問リハビリテーション

### 介護保険制度とは

何らかの病気や障害により、日常生活に支援や介護が必要な状態になられた方が、介護認定を受けられた場合に様々なサービスが利用できる制度。



家族教室の当日は、スライドの説明に加え、当日の内容に準じた資料もお配りしていますので、聞き逃した場合でも読み返して頂けます。皆様に少しでも当日の内容について理解を深めて頂ければと思っております。

※現在は、当院の入院患者様・ご家族様に向けてのみ、家族教室を行っております。

## 「日常生活の相談窓口」

今回は利用者様からご相談頂いた事例を紹介致します。

リハビリの時間に利用者様とお話をしていると、利用者様が今知りたいと思われている情報の話が出てくる場合があります。

Aさんは病院で受けた血液検査の結果を記したデータを持っておられました。しかし、せっかく検査結果が載っていても、数値の値が良いのか悪いのかが分からないとご相談を受けました。検査結果が書かれた紙には数値のみ書かれており、それぞれの項目がどのような意味を持ち、正常値がどれくらいなのかが分からないと見ても意味が分かりません。その為、Aさんには血液検査データの見方表をお渡しする事で、検査結果を確認して頂き、現在の自分の身体の状態を詳しく知って頂く事が出来ました。

Bさんは、テレビ番組でボツリヌス注射を行われた患者様の話を見られ、ボツリヌス注射に興味を持たれました。その為、その注射がどのようなもので、どんなリスクがあるか等、ボツリヌス注射について調べた資料をお渡しして、その後の検討資料にして頂きました。

また、Cさんは車いすから自家用車へ移乗する時に、車いすから立ち上がる事が困難でした。利用者様やリハビリの者が持っていた福祉用具のカタログには立ち上がりを補える物は見当たりませんでした。その他の手段で調べた結果、適応出来そうな福祉用具を探し出しました。その後、それを取り扱っている業者さんにケアマネージャーさんが連絡を取って下さり、その福祉用具を利用して頂いて問題を解決する事が出来ました。

その他、当事業所には理学療法士と作業療法士が居りますが、言語聴覚士が関連する事柄をご相談頂く場合もあります。Dさんは食事中にムセられる事があるとご相談頂きました。Dさんには当院の言語聴覚士に食事前に行う舌の自主トレプログラムを作製してもらい、それをお渡しして実施して頂きました。このように当院の言語聴覚士のスタッフと連携をとって対応する事もしております。

これらのように、「こんな事をリハビリの人に相談しても良いのかなあ」「リハビリとは関係ないから相談してもダメよね」と思わずに、リハビリ以外の事でも日常生活を行っていく中で気になった事、知りたいと思われる事、困った事等があれば、お気軽にご相談ください。

利用者様の生活がより良いものになる様に、ケアマネージャーさんや福祉用具業者の方など各担当職種の方々と連携しながら、出来る限り対応させて頂きます。

### お知らせ

今年は自然災害の多い年です。緊急時の備えはもちろん、緊急時の連絡先、避難場所など確認しておきましょう！

また、かかりつけ医療機関や服薬内容を記した救急情報用紙などを、日頃から目に留まる冷蔵庫や玄関口に貼っておくのも有効です！